

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応募者に関する情報

記入日：平成24年11月26日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) ヨコハマシ (トツカクヤクシヨ) (団体名) 横浜市 (戸塚区役所)
応募 担当者 連絡先	団体名： 横浜市戸塚区 所在地： 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町157-3 部署名： 戸塚区区政推進課 企画調整係 役職名： 係長 氏名： 岩船 広 TEL： 045-866-8326 FAX： 045-862-3054 E-Mail： hi00-iwafune@city.yokohama.jp
ホームページ	http:// www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/kusei/kikaku/carbonoffsettop.html
応募団体の主たる事業 (※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可)	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真(JPEG等)や概要図(PDF等)は別途メール等で事務局までお送りください。
 応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。
 ※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体でA4用紙3ページ以内にまとめてください。
 ※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

地域ぐるみでカーボン・オフセット

(カーボン・オフセットに取り組む地域を戸塚区が応援します!)

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
 会議・イベントオフセット
 自己活動オフセット
 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類
http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、○○、○○の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

3①-1に記載した算定範囲と同じ

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続していた事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外
 2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有
 2012年3月15日以降、現在も継続中(終了時期未定)の場合 ⇒応募資格有

補助対象期間(2012年8月1日から2013年3月31日)までに戸塚区で行われる各種イベント
 平成24年11月30日現在で4イベント(4団体)から申請、3イベント(3団体)で実施済み

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社HP等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URLを記載願います。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/kusei/kikaku/carbonoffsettop.html>

3. 1次審査項目**①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識**

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)**①-1 排出量の算定方法及び算定範囲**

イベント開催における、関係者の交通移動、会場の使用電力量、使用ガス量、廃棄物処理に伴う排出量など

算定方法については環境省の算定ガイドラインを用いた。総量3トン(11月30日現在)

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) 流しそめん大会(8月4日 川上地区連合町内会) | 1 t |
| (2) AQUAフェスタ2012(9月30日 上矢部まちづくりの会) | 1 t |
| (3) 南秋祭(9月30日 横浜市南戸塚地域ケアプラザ (福) 朋光会) | 1 t |
| (4) どんど焼き(1月13日実施予定 鳥が丘自治会) | 算定中 |

①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| (1) 流しそめん大会(川上地区連合町内会) | ガス |
| (2) AQUAフェスタ2012(上矢部まちづくりの会) | 電力、ガス |
| (3) 南秋祭(横浜市南戸塚地域ケアプラザ (福) 朋光会) | 電力、ガス、水道、機材搬入 |
| (4) どんど焼き(鳥が丘自治会) | ガス、薪、どんど焼き焼却分(予定) |

② 排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電
 節水
 廃棄物の減量化
 省電力機器の導入
 公共交通機関の利用・呼びかけ
 その他(具体的に イベントでの容器持参の取組、デポジット制による不要容器の排出抑制)

③ オフセットの手続き**<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>**

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合(%)についても記載してください。【例】J-VER(0%)、GER等(Δ%)など

J-VER

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

記載例：
 ○○地域連携による間伐促進型森林づくり事業、
 ○○による木質ペレットボイラーでの温室効果ガス排出削減事業、
 ○○国における風力発電プロジェクト CDM プロジェクト番号・・・

北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業(北海道下川町他)

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

- | | |
|--------------------------------|------------|
| (1) 流しそめん大会(川上地区連合町内会) | 9月30日 |
| (2) AQUAフェスタ2012(上矢部まちづくりの会) | 10月31日 |
| (3) 南秋祭(横浜市南戸塚地域ケアプラザ (福) 朋光会) | 10月31日 |
| (4) どんど焼き(鳥が丘自治会) | 2013年上旬を予定 |

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真(JPEG等)や概要図(PDF等)は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体でA4用紙4ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

CO2 排出削減努力の項目(内容)について、期待した効果とその成果について具体的なかつより定量的にアピールしてください。
CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

CO2 排出削減努力の内容など

本事業は地域のイベントでカーボン・オフセットを実施する際に、区がその取組を支援するものです。

補助制度の希望団体に対して、区役所がイベントの実行委員会の会合へ出席するなどして、関係者に対しカーボン・オフセットの趣旨や削減努力の必要性などについて具体的な説明を行い、カーボン・オフセットへの取組を働きかけました。イベント全体のCO2を算定する段階においては、主催団体が委託したオフセットプロバイダが、削減努力についてのアドバイスを行い、イベント内での具体的な削減行動を行うことで、ごみの減量や、無駄な電力やガスの使用を抑制しました。

※補助制度を活用したイベントでの削減の具体例

- (1) 流しそうめん大会(川上地区連合町内会)
無駄なガスや電気の利用削減等
- (2) AQUAフェスタ2012(上矢部まちづくりの会)
ごみの分別の徹底等
- (3) 南秋祭(横浜市南戸塚地域ケアプラザ(福)朋光会)
容器持参を基本とするとともに、持参していない方に対しては容器代へのデポジット制の導入し、使い捨て容器の提供を廃止することで、割り箸、紙皿、紙コップ、プラスチック容器の廃棄を抑制し、CO2 排出量(6.4kg)を削減
- (4) どんど焼き(鳥が丘自治会)
無駄なガスの利用を抑制



(1)、(2)、(4)はヒアリングにより、(3)はイベントのチラシによる

2. カーボン・オフセットの内容

自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

カーボン・オフセットの取組の意義・重要性について

戸塚区では、地域において、より一層の環境行動を推進いただくために、「戸塚区カーボン・オフセット普及啓発補助制度」を創設しました。本制度は、地域におけるイベント等の事業においてカーボン・オフセットに取り組んでいただく団体(ボランティアグループ、市民活動団体、NPO、公益法人、自治会・町内会、企業等)に対して、具体的なアドバイスや補助金を交付することで、カーボン・オフセットを身近なものとしてとらえてもらい、実際に取り組んでいただくことを支援するものです。

本補助制度を自治会・町内会や、地域団体に周知することで、カーボン・オフセットの趣旨を幅広く啓発することができました。また、補助制度とすることで身近な地域イベントで、仲介事業者の協力を得ながら市民自らが主体となってカーボン・オフセット(削減行動から排出量の算定など)に実際に取り組んでいただくことができる仕組みとなっています。

24年度は、11月30日現在で4団体から補助申請が行われており、すでに3つのイベントでカーボン・オフセットに取り組んでいただきました。

自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについて

本補助制度を活用し、これまでカーボン・オフセットになじみがなかった地域団体等に取り組んでいただくことで、カーボン・オフセットの意義や重要性を認識いただき、次年度以降も継続的にカーボン・オフセットに取り組んでいただくことを期待しています。なお、次年度以降、カーボン・オフセットへの取組が困難な場合でも、算定したCO2排出量の意識付けや、イベントでのCO2削減行動については、イベントが実施される限り継続的に続いていくものと考えられます。

AQUA フェスタ開会式**南秋祭****3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性**

次の①～④のいずれか(複数可)の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献

地域活性化への貢献

今回の補助対象事業の要件は「地域における連携・活性化を目的としたイベント」を対象としております。区役所がイベントを支援することでカーボン・オフセットが実施される事に加え、イベント自体が活性化することで、CO2削減効果とともに、地域のつながりづくりや、地域活性化にも寄与しています。

また、本補助制度を活用したカーボン・オフセットにて想定されているクレジットの排出権創出事業者である北海道下川町と、川上地区連合町内会、戸塚区は3者で友好交流協定を締結しています。24年8月には北海道下川町の子どもたちが、戸塚区の川上地区連合町内会を訪問し、子どもたちの交流を図りました。また、補助対象事業となった「大流しソーメン大会」にも川上地区の子どもたちとともに下川町の子どもが参加するなど、青少年の健全育成に貢献しています。

さらに、戸塚区のふれあい区民まつりでは、区と下川町が協力してブースを出展し、下川町特産のトマトジュースや、素麺などの特産品を販売するなど、都市部の人的資源と農山村地域の森林資源を連携する取組にもつながっています。

川上地区大流しソーメン大会**戸塚ふれあい区民まつり(下川町ブース)**

